

2016年6月16日

Toolbox2HTML 取扱説明書

目次

1. ツール概要	p. 1
2. インストール	p. 3
3. ツール機能および画面概要	p. 3
4. HTML変換機能	p. 4
5. メニュー管理機能	p. 4
6. 略語一覧変換機能	p. 5
7. 各種設定画面	p. 6
8. 入力ファイルフォーマット	p. 7
9. 出力データ	p. 8

1. ツール概要

ツール名称
動作環境

Toolbox2Html
HTA + ActiveX(ADODB.Stream)
※ 本ツールは、Internet ExplorerがインストールされたWindows7を対象に動作確認を行っております。
他バージョンのWindowsでも動作することが予想されますが、保障対象外となっております。ご了承下さい。

ツール概要

本ツールは、Toolbox形式のtextファイルを元に、Webページを作成するツールです。

本ツールで作成されたWebページは以下の事が可能です。

- 音声ファイルの再生
 - 再生するファイルの形式を選択可能
- メニュー(リンク)の表示/非表示の切り替え
- 項目別の表示/非表示の切り替え
- 略語一覧の表示/非表示の切り替え
- ヘルプ画面(画像)の表示
- 形態素、グロス等を表形式で表示(変換時に設定した場合のみ有効)

出力画面サンプル (旧バージョンにより作成された <http://sliammontexts.aa-ken.jp/sliammontexts/output/WrittenAs-2/index.htm> において、2016/06/16現在公開中のデータを利用した画面サンプルです。)

sample

0:00 wav sound-all

△close menu

▽ open List of abbreviations

HELP

display conf

表示切替サブウィンドウを表示します。

ヘルプサブウィンドウを表示します。

略語一覧サブウィンドウを表示します。

全体用の音声ファイルを作成します。

予め複数の形式の音声ファイルを用意する事で、再生する形式を選択可能です。

文種別の音声ファイルを再生します。

audioタグによって音声再生されます。

メニュー(リンク)の開閉が行えます。

グロスや形態素等は、表形式でそろえて表示させることが可能です。(変換時に設定した場合のみ有効)

サイトタイトル: のサンプルです。

google

google.com

google news

Yahoo

Yahoo

Yahoo News

sound

MG&EP.0004

M:

[éim'ga híy k'o0nám'ʔámʔumatiyamočx̣]

čəm'ga híy' k'o_0 nam' ʔəmʔumatiyám_a_čx̣

čəm'ga híy' k'o_0 nam' ʔəmʔumatiyám_a_čx̣

hy_MTG and DET_2SG.POS similar ***_0_2SG.INDC.SBJ

MG&EP.0002

E:

[héhewě ʔá mʔomə́ ʔyam q'áʔq'č mosč̣]

híhiv_č ʔəmʔumatiyám_q'áʔq'imus_č

híhiv_č ʔəmʔumatiyám_q'áʔq'imus_č

very_1SG.INDC.SBJ *** ***_1SG.INDC.SBJ

MG&EP.0601

E:

[ʔáxti:stomayěʔmof sɣ'ox'ot]

ʔəxti:stumayám'ut sɣ'ux'ut

ʔəxtiy-stg-may-əm-ʔuL sɣ'ux'ut

similar-CAU-1SG.OBJ-PASS-PAST long.time.ago

MG&EP.0624

display config

- toggle c symbol
- all ON all OFF
- line number
- speaker
- phonetic
- phonemic
- morpheme
- gloss

表示切替サブウィンドウを閉じます。

表示中のアンダータイを「=」、「記号なし」とトグルで切替えます。

全ての列の表示をON/OFFに切り替えます。

列毎の表示を切り替えます。尚、チェックされているものが表示対象です。

sample

0:00 .wav sound-all

△close menu

サイトタイトルのサンプルです。

google

google.com

google news

Yahoo

Yahoo

Yahoo News

sound

MG&EP.0001

M:

[čim'ga hčy' k'o0nám' ?ám?omatı:yamačk]

čəm'_ga hiy' k'o_0 nam' ?ám?umatıyam_a_čx'

čəm'_ga hiy' k'o_0 nam' ?ám?umatıyam_a_čx'

why_MTG and DET_2SG.POSS_similar ***_QN_2SG.INDC.SBJ

MG&EP.0002

E:

[hčewč ?á-m?omatı:yam q'á?g'čmosč]

hihiw_č ?ám?umatıyam q'a?g'imus_č

hihiw_č ?ám?umatıyam q'a?g'imus_č

very_1SG.INDC.SBJ ***_1SG.INDC.SBJ

MG&EP.0601

E:

[?áxtı:stomayč?mof sčx'ox'ot]

?əxtıy-stumayam'ut sčx'ux'ut

?əxtıy-stg-may-əm-?uL sčx'ux'ut

similar-CAU-1SG.OBJ-PASS-PAST long.time.ago

MG&EP.0624

▽close List of abbreviations ▾ HELP

List of abbreviations

Gloss	Meaning
A.Intr	active-intransitive
Aut	autonomous
Aux	(unglossed) auxiliary
Cau	causative
Cjr	conjunctural
Clf	cleft
Clt	(unglossed) clitic
Cnj	conjunctive subject
CNJ	conjunctive clause
CTR	control transitive
Dem	demonstrative
Det	determiner
Dim	diminutive
DirEv	direct evidence
Dsd	desiderative
epen	epenthesis (h and ?)
ev	epenthetic vowel

略語一覧はこのように表示されます。

これはサンプル画像です。

ヘルプサブウィンドウを閉じます。

この部分は所定の画像ファイルが表示されます。

画像が大きい場合は、スクロールバーが表示されます。

2. インストール

圧縮ファイルを解凍し、任意のフォルダに配置します。

※ zip圧縮フォルダのままでは正常に動作しません。
必ず解凍して通常のフォルダとして再配置の上、ご利用下さい。

Toolbox2Html.htaが本ツールとなります。

※ セキュリティの設定によっては、そのままでは動作しないケースがあります。
その場合は、エクスプローラから、Toolbox2Html.htaのプロパティを開き、動作を許可して下さい。

また、ネットワーク上のドライブに配置した際等では、ActiveXの仕様上、デフォルトの設定では異なるドメインのデータソースにアクセスできません。
IEのセキュリティ設定を変更する事で対応できますが、セキュリティを下げる事となるので、入力ファイルと同ドメインで利用する事を推奨します。

3. ツール機能および画面概要

本ツールの画面は以下の4画面となります。

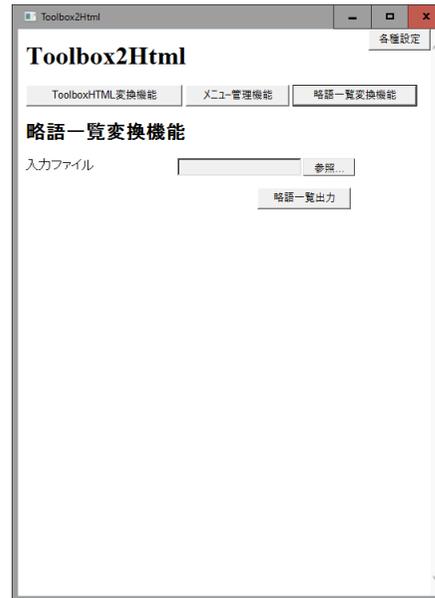
● ToolboxHTML変換機能



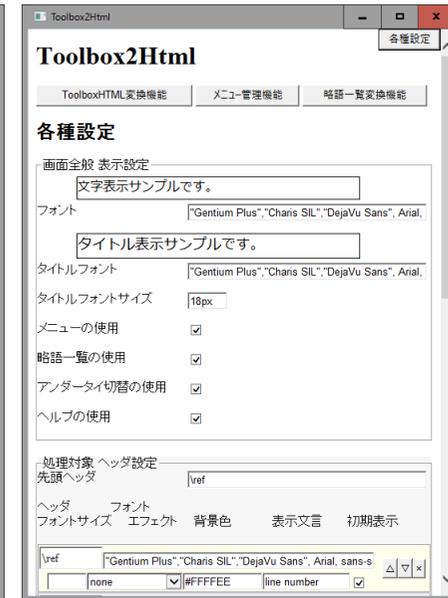
● メニュー管理機能



● 略語一覧変換機能



● 各種設定画面



機能および画面概要

- ToolboxHTML変換機能 ※詳細は4.ToolboxHTML変換機能をご参照下さい
Toolbox形式のtextファイルをHTMLデータに変換します。
Webページ左上に表示されるページタイトルはここで入力します。
音声ファイルを利用する際は、ここで音声ファイルの形式を選択します。(複数選択可)
- メニュー管理機能 ※詳細は5.メニュー管理機能をご参照下さい
Webページ左側のメニューの内容を編集できます。
背景色はカテゴリ毎に選択できます。
リンク先は絶対パスで指定して下さい。
また、固定ページからも同一のメニューを利用可能です。
- 略語一覧変換機能 ※詳細は6.略語一覧変換機能をご参照下さい
CSV形式の略語一覧のtextファイルをWeb画面で利用できる形式(JavaScript)に変換します。
- 各種設定画面 ※詳細は7.各種設定画面をご参照下さい
ToolboxHTML変換機能やWebページの表示に関する設定を変更できます。
各種設定画面の設定内容が保存されていない場合(初回起動時を含む)は、ツール起動時に各種設定画面が表示されます。

4. ToolboxHTML変換機能

※ 本機能を利用する前に、各種設定画面で画面の表示設定を行って下さい。

1. 入力ファイルを選択する。

※ 入力ファイルのフォーマットについては、8. 入力ファイルフォーマットを参照して下さい。

2. 出力フォルダ名を入力する。

※ フォルダ名のみを入力します。/や\等の文字が含まれている場合、正常に動作しない場合があります。

3. ページタイトルを入力する。

※ タイトルはWeb画面のブラウザのタブの名称と、Web画面左上の幅50px、高さ35pxのエリアに表示されます。
Web画面左上のものについては、エリアを越えた部分は非表示となります。
この項目にHTMLのタグはご利用頂けません。

等と記載した場合も、そのまま画面上に
と表示されますのでご注意ください。

4. 音声ファイルのフォーマットを選択する。

※ 音声ファイルはここで指定したフォーマットの物を全て事前に用意する必要があります。
音声ファイルは、inputフォルダに格納して下さい。変換後は音声ファイルを削除して頂いて問題ありません。

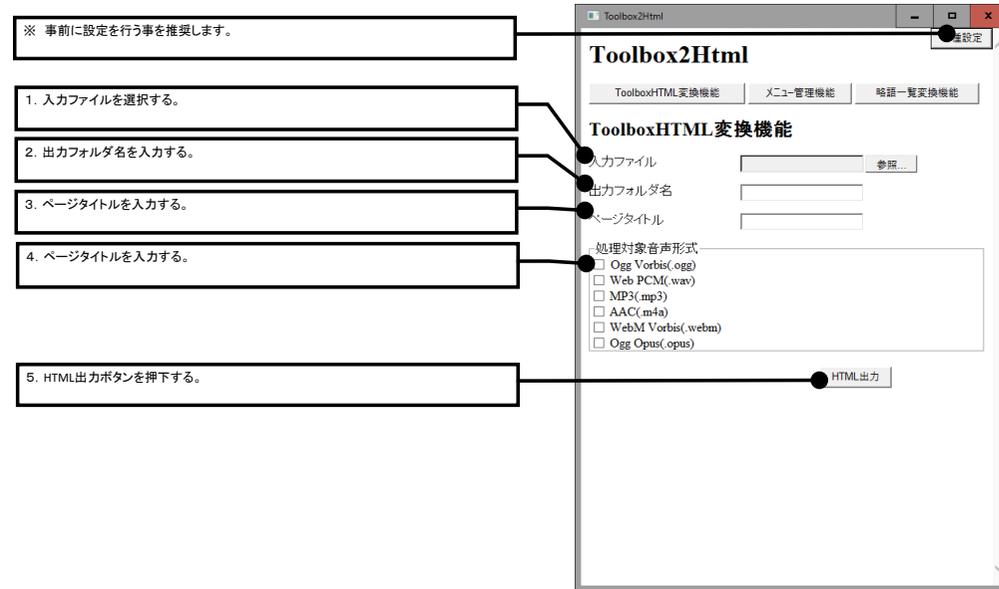
※ Web画面ではAUDIOタグにより、音声ファイルを再生しています。
AUDIOタグが対応している音声ファイルの形式が、各ブラウザ毎に異なります。
複数の形式のファイルを指定して頂ければ、Web画面上で再生する側が選択可能になります。

各ブラウザ毎の音声ファイル対応状況

対応形式	拡張子	G.Chrm	IE	FrFx	Opr	Sfr
Ogg Vorbis	.ogg	9	No	3.5	10.50	Yes
Web PCM	.wav	Yes	No	3.5	11.00	3.1
MP3	.mp3	Yes	9	21*	14	3.1
AAC	.m4a	Yes	9	21*	14	3.1
WebM Vorbis	.webm	Yes	No	4.0	10.60	No
Ogg Opus	.opus	25	No	15	14	No

G.Chrm : Google Chrome / IE : Internet Explorer / Frfx: Mozilla Firefox
Opr : Opera / Sfr : Safari *Windowsのみ対応
Wikipedia[https://ja.wikipedia.org/wiki/HTML5オーディオ](2015/09/30)より引用

5. HTML出力ボタンを押下する。



5. メニュー管理機能

※ メニュー管理機能の出力は、各ページで共通となります。
ページ追加時や、リンク先を変更したい場合等にご利用下さい。

1. サイトタイトルやリンク項目等を編集する。

1-1. サイトタイトルの編集

この項目はWeb画面左のメニューの最上部に表示されます。
HTMLタグ等に対応していますので、自由に編集して下さい。
尚、Web画面左側のメニューエリアは幅がおよそ300pxとなっています。
特にタグ内のstyle属性で指定を行ったりしない限りは、幅を超えると改行されます。

1-2. カテゴリの編集

カテゴリは、カテゴリ名、背景色を指定できます。
背景色はCSSの記述として色と認識できる内容であれば有効となります。
ex. White / #FFFFFF / rgb(255,255,255) ※いずれも白を指定

1-3. リンクの編集

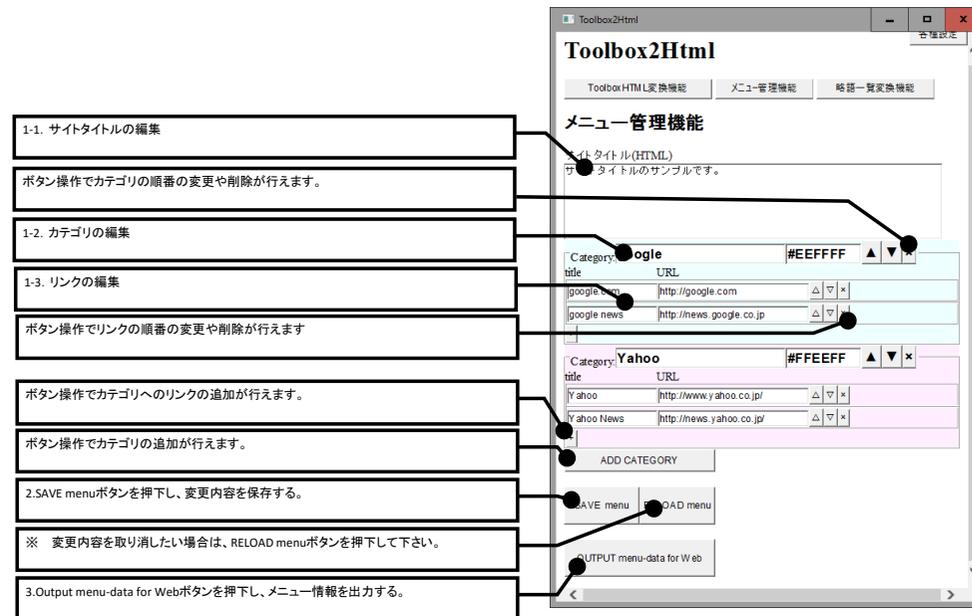
リンク先は絶対パスで指定して下さい。

カテゴリ、リンクはこの画面に表示されている順で、Web画面上も表示されます。

2. SAVE menuボタンを押下し、変更内容を保存する。

3. Output menu-data for Webボタンを押下し、メニュー情報を出力する。

※ 変更内容を取り消したい場合は、RELOAD menuボタンを押下して下さい。
最後にSave menuボタンを押下した際の状態に戻ります。



6. 略語一覧変換機能

※ 略語一覧変換機能の出力は、各ページで共通となります。

1. 入力ファイルを選択する。

※ 入力ファイルのフォーマットについては、8. 入力ファイルフォーマットを参照して下さい。

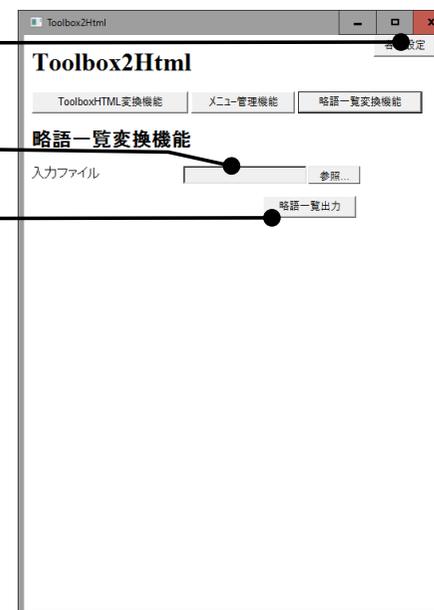
2. HTML出力ボタンを押下する。

※ 各種設定画面の「略語一覧を使用する」の設定がOFFの状態では出力したWebページでは略語一覧は表示されません。
略語一覧を利用しない場合はこの設定をOFFにすることをお勧め致します。

※ 各種設定画面の「略語一覧を使用する」の設定がOFFの状態では出力したWebページでは略語一覧は表示されません。

1. 入力ファイルを選択する。

2. HTML出力ボタンを押下する。



7. 各種設定画面

※ 各種設定画面の設定内容は、ToolboxHTML変換機能でHTML出力する際に、画面に反映されます。既に出力済みの画面の設定を変更したい場合は、再度出力し直す必要があります。

1. 画面で利用する基本的なフォントを指定する。

各列のフォントについては、入力ファイルで個別に設定が可能です。
列の個別のフォント指定を行わない場合や、列カテゴリのヘッダ等にはこのフォントが適用されます。
フォントの指定はCSSのfont-familyの指定方法に準じます。

2. タイトルで利用するフォント、フォントサイズを指定する。

Web画面左上のページタイトルに適用されるフォントおよび、フォントサイズを指定できます。
フォントの指定はCSSのfont-familyの指定方法に準じます。
フォントサイズはCSSのfont-sizeの指定方法に準じます。

3. 各種画面機能項目の利用の有無を選択する。

- メニューの使用
チェックを外した状態で出力したWebページでは、Web画面左側のメニューが常に非表示状態となり、表示を切り替えるボタンも表示されません。
- 略語一覧の使用
チェックを外した状態で出力したWebページでは、Web画面右側の略語一覧が常に非表示状態となり、表示を切り替えるボタンも表示されません。
- アンダータイ切替の使用
チェックを外した状態で出力したWebページでは、表示切替サブウィンドウにtoggle clitic symbolボタンが表示されません。アンダータイを利用していないToolboxファイルを変換する場合は、チェックを外す事をお勧めします。
- ヘルプの使用
チェックを外した状態で出力したWebページでは、ヘルプサブウィンドウの表示切替ボタンが表示されません。ヘルプ用の画像ファイルを用意しない場合は、チェックを外す事をお勧めします。

4. 処理対象ヘッダを設定する。

- 先頭ヘッダを設定する。
ここで設定したヘッダが表れてから、次にこれが表れる、またはファイルの末尾に到達するまで、処理対象データの集合と見なします。
Yref のように、*も記載して下さい。※画面上は文字コード、フォントの都合上、バックslashで表示される場合があります。
- 変換対象のうち、一行表示するヘッダを設定する。
処理対象データからここで指定されたヘッダに該当するデータを抜き出し、Web画面上の一行表示の対象として、変換します。
- 表形式表示対象のヘッダを設定する。
処理対象データからここで指定されたヘッダに該当するデータを抜き出し、Web画面上の表形式での表示対象として、変換します。
これらは、一行中の空白やタブで区切られた部分を区切りと見なして、表形式に変換します。
変換設定の結合対象で指定された条件に基づき、直前や直後の部分と連結したデータとして変換されます。

- 一行表示、表形式表示対象共通の設定項目
 - ヘッダ Yref のようにtoolboxファイルで処理対象とするヘッダを記載する。
 - フォント CSSのfont-familyの指定方法に準じます。
 - フォントサイズ CSSのfont-sizeの指定方法に準じます。
 - エフェクト 太字、斜体の有無等を選択できます。
 - 背景色 背景色の指定はCSSの記述として色と認識できる内容であれば有効となります。
ex. White / #FFFFFF / rgb(255,255,255) ※いずれも白を指定
 - 表示文言 表示切替サブダイアログに表示される該当項目の名称です。
 - 初期表示 初期状態で表示状態とするか、非表示状態とするかを選択します。

※ 尚、Web画面上の表示は、ここで指定したヘッダの順となります。

5. 変換設定を行う。

- 削除対象を設定する。
主に、通常の環境では利用不可能であるような文字を削除したいケースに利用します。
変換時に、すべてのヘッダについて、出力結果からこの文字を削除します。
- 結合対象を設定する。
主にクロス等が、-や=付きで、スペース区切りになっている箇所を表形式で出力する際に、連結するために利用します。
この処理を行う事により、接辞境界や接語境界等を連結して、より適切な表形式にする事が可能です。
ex. 以下を表形式として変換する場合

Yt	I walked.	連結なし	I walked.
Ym	I walk -ed.		I walk -ed.

 頭語のスペース削除に=を指定した場合

I	walked.
I	walk-ed.

6 SAVE configボタンを押下し、変更内容を保存する。

※ 変更内容を取り消したい場合は、RELOAD configボタンを押下して下さい。
最後にSave configボタンを押下した際の状態に戻ります。

※ 初回起動時の内容に戻りたい場合は、Reset to the defaultボタンを押下して下さい。

※ SAVE configを押下せずに閉じた場合は、次回実行時は以前の設定内容が表示されます。

The screenshot shows the 'Toolbox2Html' configuration window with various settings. Numbered callouts (1-6) point to specific sections:

- 1. 画面で利用する基本的なフォントを指定する (Basic font for screen)
- 2. タイトルで利用するフォント、フォントサイズを指定する。 (Font and size for title)
- 3. 各種画面機能項目の利用の有無を選択する。 (Select usage of various screen functions)
- 4. 処理対象ヘッダを設定する。 (Set processing target headers)
 - 4-1. 先頭ヘッダを設定する。 (Set first header)
 - 4-2. 一行表示するヘッダを設定する。 (Set header for one-line display)
 - ヘッダの順序の変更や削除を行う。 (Change or delete header order)
 - 表形式表示の全体中の順序を変更する。 (Change order in table display)
 - 4-3. 表形式表示対象のヘッダを設定する。 (Set header for table display)
 - 表形式表示対象を追加する。 (Add to table display target)
 - 一行表示するヘッダを追加する。 (Add header for one-line display)
- 5. 変換設定を行う。 (Set conversion settings)
 - 5-1. 削除対象を設定する。 (Set deletion target)
 - 5-2. 連結対象を設定する。 (Set linking target)
 - 変換設定 (Conversion settings)
 - 削除対象 (Deletion target)
 - 結合対象 (Linking target)
 - 初回起動時の内容に戻りたい場合は、Reset to the defaultボタンを押下して下さい。 (Reset to default on first start)
 - 変更内容を取り消したい場合は、RELOAD configボタンを押下して下さい。最後にSave configボタンを押下した際の状態に戻ります。 (Reset changes with RELOAD)
- 6. SAVE configボタンを押下し、変更内容を保存する。 (Save changes)

※ **OSSのfont-familyの指定方法について**
フォントを複数指定する場合はコンマ区切りで記載します。
複数指定した場合には、左側のフォントが優先的に利用されます。
フォント名にスペースが含まれる場合は「」でクオートして下さい。
※ 正しく指定されている場合でも、閲覧する環境に該当するフォントが存在しない場合は適用されないにご注意下さい。

※ **OSSのfont-sizeの指定方法について**
数値で指定する場合は必ず、単位を記載して下さい。
large/smallのような指定も可能です。
ex. 24px / 2em / 2cm / large

8. 入力ファイルフォーマット

1. ToolboxHTML変換機能ファイルフォーマット

本ツールのToolboxHTML変換機能で選択可能なファイルは、UTF-8で記載されたToolbox形式のファイルである必要があります。
Webに変換する対象ヘッダは各種設定画面で設定が可能です。
※ 対象ヘッダの設定については、7. 各種設定画面を参照して下さい。

先頭ヘッダとして指定したヘッダが最初に表れてから、次に表れるまたはファイルの末尾に到達するまでを1つのデータと見なします。

先頭データに%sound-allというヘッダを設定することで、全体用の音声ファイルを指定することができます。
各データに%sound-fileというヘッダを設定することで、各データ用の個別の音声ファイルを指定することができます。

これら、音声ファイルの指定には、音声ファイル名のみを記載し、括弧は記載しないで下さい。
複数の形式の音声ファイルを対象とする場合には、同一ファイル名、括弧子が異なるファイルが必要な種類用意して下さい。

2. 略語一覧ファイルフォーマット

本ツールの略語一覧変換機能で選択可能なファイルは、UTF-8で記載されたタブ区切りのCSV形式のファイルである必要があります。
第1列を略語、第2列を内容として変換を行います。
Web画面にはこのCSVの記載順のまま表示されます。
先頭行もヘッダ行ではなく、データ行として処理されるのでご注意ください。
空白や1列しかないデータについては、無効なデータと見なし、変換は行いません。
3列以上ある行については、3列目移行はコメントと見なし、2列目までを変換し、3列目移行は変換は行いません。
行頭に「//」が記載されている場合、これはコメント行と見なし、この行は変換は行いません。

2. ToolboxHTML変換機能ファイルサンプル

```
Yname Conversation: Mary George and Elsie Paul
Yid MG&EP
Ysp Mary George and Elsie Paul
Ynt recorded on 1997-09-01;
Ydt 04/Dec/2014

Yref MG&EP.0001
Ysp M:
Yph [šim' ga he' y' k'u θ na' m' ?ám?omati:yamočx*]
Yt čam' _ga hiy' k'a_ θ_ nam' ?am?umatiyam _a_ čx*
Ym čam' _ga hiy' k'a_ θ_ nam' ?am?umatiyam _a_ čx*
Yg why _MTG and DET_ 2SG.POSS_similar *** _QN_ 2SG.INDC.SBJ

Yf 'What are you up to? (what's with you?) Are you feeling lazy?'
Ynt AND-Fronting WH
%sound-all MG&EP_2645-2940
%sound-file MG&EP_2645

Yref MG&EP.0002
Ysp E:
Yph [hē' hewē ?á' m?omati'yam q'a?á' q'imosč]
Yt hihiw _č_ ?am?umatiyam q'a?á' imus _č_
Ym hihiw _č_ ?am?umatiyam q'a?á' imus _č_
Yg very _1SG.INDC.SBJ *** *** _1SG.INDC.SBJ

Yf 'I really feel lazy. I have a headache.'
%sound-file MG&EP_2646
```

※ これは、以下の設定であることを想定しています。
・ 先頭ヘッダ Yref
・ 行表示対象ヘッダ Ysp,Yph,Yf
・ 表形式表示対象ヘッダ Yt,Ym,Yg
変換対象には以下を指定していることを想定しています。

- 削除対象 ~
- 結合対象
- スペース削除語頭 -<
- スペース削除語尾 ->
- スペース残し語頭 ~
- スペース残し語尾 ~

最初の先頭ヘッダ以前の内容は、有効なデータとは見なされません。
この部分は変換の対象外となります。
従って、3行目は有効なヘッダですが、Htmlには変換されません。

%sound-allは先頭のデータに記載されている場合のみ有効です。

%sound-fileは各データに対して指定が可能です。
指定しないデータでは、soundボタンは表示されません。

出力されたHTMLのイメージ

sound

MG&EP.0001

M:

[šim' ga he' y' k'uθna' m' ?ám?omati:yamočx*]

čam' ga hiy' k'a_ θ_ nam' ?am?umatiyam _a_ čx*

čam' ga hiy' k'a_ θ_ nam' ?am?umatiyam _a_ čx*

why_MTG and DET_ 2SG.POSS_similar ***_QN_ 2SG.INDC.SBJ

sound

MG&EP.0002

E:

[hē' hewē ?á' m?omati'yam q'a?á' q'imosč]

hihiw_č_ ?am?umatiyam q'a?á' imus_č_

hihiw_č_ ?am?umatiyam q'a?á' imus_č_

very_1SG.INDC.SBJ *** ***_1SG.INDC.SBJ

9. 出力データ

ツールの出力データはすべて、outputフォルダに出力されます。
また、一部のファイルはサンプルとして初期状態でoutputフォルダに格納されています。

変換されたデータはツール画面上で指定された名称で作成されたフォルダ内に出力されま

ToolboxHTML変換機能

lib(フォルダ)
cmnm.js
style.css
<ツール上で指定した任意の名称のフォルダ>

JavaScriptのライブラリです。
画面で実際に使用されるJavaScriptです。
画面で利用されるCSSです。
変換されたHTML等のデータです。
フォルダ内のindex.htmlがHTMLファイルになります。

メニュー管理機能

menu.js

メニューのデータを保持したJavaScriptです。

略語一覧変換機能

abb.js

略語一覧のデータを保持したJavaScriptです。

サンプル

固定ページサンプル.html
styleFix.css
help.jpg

固定ページでメニューを共有するためのサンプルです。
固定ページ用に別途用意したCSSです。
ヘルプ画像です。

公開の際は、outputフォルダの中身をそのままアップロードしていただければ動作します。
その際、不要なサンプルページは削除するか、目的に合わせて修正して下さい。

尚、help.jpgについては、幅が480pxになるように画面上でリサイズされます。
解像度を気にされるようであれば、横幅480pxをご用意頂くことをお勧めします。

